

ははただけ！
JTサンダーズ

竹田 英司

松江市で開催された国体中国ブロック大会に、成年男子広島県代表として臨み、茨城国体への出場を決めた。ま



国体中国ブロック大会
成年男子で優勝を飾っ
たメンバー



選手通し「親心」を実感

ずは会場で声援いただいたファンの皆
さまに感謝を申し上げたい。

今大会は宿泊が大部屋、食事も円卓
を囲むなど、修学旅行さながらであつ
た。そのため、普段とは違う雰囲気と
なった。熊倉允選手は「竹田さんだか
ら話しますけど…」と秘密を明かして
くれた。主将を務めた久原大輝選手は、
ファンに囲まれた金子聖輝選手をうら
やましそうに見ていた私を和ませてく
れた。「僕、竹田さんのファンなんデ
す。写真撮ってもいいですか」

会場にはチームの控室がなかった。
蒸し暑い体育館の片隅でおにぎりを頬
張り、試合に備えている選手を見てい
ると、けなげでいじらしく思えた。

子どものいない私には親の気持ちを
知るすべはないが、混雑した階段を選
手たちが上ろうとした時、「すみませ
ーん、通してくださいーい」と叫んでし
まった。選手からは「そんなずうずう
しいことを言わなくても…」と叱られ
たが、「みんなを守らねば」と理屈拔
きに声が出た。

これはいつか見た光景だと思った
ら、幼少時に母が私にしてくれたこと
と同じだった。厚かましい親だと一方
的に思ってきた自分を恥じ、帰路、故
郷の母にメールでわびた。

(JTマネジャー)